



University of Hawaii

長崎大学病院 初期研修医のための

「ハワイ研修2014」特集



「最先端のシミュレーション教育で、さらなる高みへ」をテーマに、毎年実施しているハワイ研修。2014年も12人の研修医の先生方(2名は長崎県新・鳴滝塾から参加)が充実の5日間を過ごしました。引率した宮本俊之先生のレポートを元にその様子をお届けします!!!



長崎大学病院
宮本 俊之 先生

英語しか通じない環境で、高度シミュレーション技術を学び、現地ドクターやレジデントと交流する。自分の力を試す場であり、可能性を伸ばすチャンスです。次はあなたがチャレンジしてください。

長崎大学病院 初期研修医 ハワイ大学短期海外研修の概要

【期間】

平成26年9月8日(月)～12日(金)

【応募資格】

長崎大学病院群研修プログラム研修医で、長崎大学病院で後期研修を行う者

【研修内容】

ハワイ大学医学部で、アメリカのシミュレーターを用いた臨床トレーニングを体験する

9月7日
1日目

→ハワイ大学に到着した時の様子。



頑張ります!!!

→①Berg先生のレクチャー風景。②正面玄関で全員揃って記念撮影。



全員そろってハワイ大学へ出発!

ハワイ大学医学部のシミュレーションセンター(Sim Tiki)でこれから4日間指導してくださるBenjamin Berg先生に挨拶。シミュレーターの説明を受けました。到着早々に英語漬けのレクチャーとなりましたが、皆ひるむことなく積極的に質問していました。

その後はハワイ大学Queen's Medical CenterのICUに勤務している瀧先生にアメリカの医療制度やハワイの研修制度についての話を聞きました。

短い昼休みの後、さっそく中心静脈確保の実習です。3つの部位でそれぞれ手技を行いました。日頃の臨床での成果が奏して、なんなくクリア。初日から全員が積極的に取り組み、好調なスタートです。

長崎大学病院 医療教育開発センター 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

TEL: 095-819-7847 FAX: 095-819-7781 MAIL: kaihatu@ml.nagasaki-u.ac.jp

HP: <http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/> ブログ: <http://careerngs.exblog.jp/>

救急外来のシミュレーションから トリアージまで内容盛りだくさん

9月8日
2日目

朝、救急外来のシミュレーションで一日が始まりました。内容は、心筋梗塞、敗血症、緊張性気胸と盛りだくさん。4人1組で行います。他のチームのときにはいろいろと判断できるのに、いざ自分の番になると頭も体も思ったように動きません。多少落ち込んだ様子でしたが、ランチの後は復活していました!!!



↑救急外来のシミュレーションではBhat先生の指導を受けました。

午後はハワイ大学老年科(日本では珍しい科です)のfellowである林先生の講義を受け、高齢者のpolypharmacy(薬の内服し過ぎによる弊害)について学びました。その後は今日のハイライト『トリアージ』。Berg先生の短いレクチャーの元、シミュレータを用いて行いました。災害時の診療への切り替えに苦労しながら、症例ごとに討論します。全員が積極的に取り組み、密度の濃い有意義な時間となりました。

医学部4年生向け!!? 闘志に火。

9月9日
3日目

ハワイ大学の女傑・Oliver先生の救急外来の症例からスタート。「医学部4年生に対するシナリオ」と言われ、闘志を燃やすも不完全燃焼……。Oliver先生のポジティブフィードバックに励まされ復活という結果でした。



↑Oliver先生の直接指導の様子。

その後、こちらも女性カリスマドクター・Lee先生に小児蘇生の講義と実習を受けました。小児の救急対応のシミュレーションでは、めまぐるしく変化する小児の状態にてんやわんやしながら、なんとか全員ゴールにたどりつきました。

その後、one night on callのプログラム(過去には一日半かかった)を一日ですませる強行日程。ここ3日間で身に付いたチームワーク力、コミュニケーション力でやり遂げました。立派な蘇生チームに成長しています。

また、この日は腹腔鏡のトレーニングマシンのコンテストもあり、中村先生が1位で表彰されました。

全員総出で蘇生に挑み 最後はすばらしいチームに!!!

9月10日
4日目

今日でSim Tikiでの研修は最後です。朝から挿管困難症例に対する様々な気道確保をシミュレーターで学び、実際のシナリオを経験しました。手技だけでなくと難しくありませんが、実際に手技を選択し実行するのは大変。ピッツバーグ大学救命センターの治療アルゴリズムに従い、悩みながらもゴール。



↑全員総出の蘇生はカオス状態。

ランチの後は毎年大人気のCrisis Team training。大学病院でいうハートコール(スタットコール)が発令した後の対応を全員で行います。4日間の成果をフルにいかし、全員総出での蘇生です。シナリオ毎に自分たちの動きをビデオで確認して、再びトライ。最後にはコミュニケーションスキルも完璧な素晴らしいチームに仕上がっていました。



↑ビデオで確認

12人全員に「Good job !」 次はあなたが参加してください

9月11日
最終日

ハワイ研修最終日はTripler Army Hospital(トリプラー陸軍病院)の病院見学です。早朝から内科カンファレンスへ参加しました。グランドラウンドは米軍病院らしく「睡眠障害と戦闘の影響など」について。聞きなれない単語が飛び交う英語での講義に一同苦労した様子でした。また病院見学では、アメリカ医療の一部を垣間見て日本とのいろいろな違いを体感していました。



↑グランドラウンドでは英語での講義を必死で聞きました。

その後、ハワイのDMATセンターへ移動。アメリカの災害救援システム、DMATの構成要員など、日本とはまったく違う体制、備蓄に驚きの連続でした。

こうして全日程が終了。5日間全力で走りきり、全員が清々しい表情でした。12人の研修医に「Good job!!!」。来年の研修内容についても既にBerg先生と協議中です。これを読んでいるあなた、ぜひ参加して下さい!!!

参加者の声

最新のシミュレーションを使い、実際の救急現場を想定したトレーニングや多くの手技の訓練を経験できました。また実際にアメリカの病院やDMATチームを見学し、海外の医療現場を肌で感じることもできました。全体を通して、救急の現場でのチームワークの重要性を再認識しました。各々の医療スタッフの役割分担を明確化し、リーダーとなる医師は、明確な指示そして情報収集と共有化を実施しなければならず、相互の良いコミュニケーションが診療の質の向上につながると思えました。

チームワークの重要性を再認識



長崎みなとメディカルセンター市民病院 研修医2年 中村 裕一郎先生

ハードな5日間でしたが、とても充実しており、参加して良かったと心から思います。手技だけでなく、チームワークの大切さを学ぶことができました。また他の病院で研修している同期と久しぶりに会うことができ、よい刺激となりました。貴重な経験をする機会を与えてくださった皆様感謝します。今後長崎県で研修をする研修医にはぜひ参加してほしいと思います。

充実の5日間に大満足



長崎大学病院 研修医2年 藤江 祥子先生